

農研機構市民講座のご案内

演 題：日本のリンゴが世界一おいしい理由

講演者：別所 英男
べっしょ ひでお

(農研機構 果樹茶業研究部門 品種育成研究領域長)

内 容

日本が世界に誇れるものの一つに果物があります。たとえば、リンゴの「ふじ」は、昭和 14 年に交配され、現在では日本だけでなく、リンゴの主要国で栽培が行われ、世界一の生産量となっています。品種改良の成果がリンゴ産業の革新につながったと言っても過言ではありません。

本講演では、明治以降、どのようにリンゴ生産が発達してきたか、また、品種や栽培技術の開発など研究面での貢献についてお話しします。



日 時：平成 30 年 10 月 13 日（土曜日）10:00～11:15

場 所：食と農の科学館（茨城県つくば市観音台 3-1-1）

参加費：無料。どなたでも参加できます。

申込み：リンゴの試食を予定しています。準備のため、農研機構の以下の URL から事前申し込みにご協力ください。

<https://pursue.dc.affrc.go.jp/form/fm/naro001/shiminkouza20181013>



申込 QR コード

お問い合わせ：農研機構本部 広報課（TEL：029-838-8980）

※農研機構（のうけんきこう）は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構のコミュニケーションネームです。